

「フランスパンの神様」フィリップ・ビゴ氏死去 日本でフランスパンの普及に尽力



17日（月）、日本に本場のフランスパンを普及させ、日本で「フランスパンの神様」と呼ばれたフィリップ・ビゴ（本名：フィリップ・カミーユ・アルフォンス・ビゴ Phillippe Camille Alphonse Bigot）氏が、病気のため76歳で亡くなりました。9月17日はビゴ氏の76回目の誕生日でした。

日本に本場のフランスパンを広める

ビゴ氏は、1965年4月に、東京で開かれた見本市でパンを焼く職人として来日。見本市終了後に、兵庫県芦屋市のフランスパンを手掛けていた大手ベーカリー「ドンク（DONQ）」三ノ宮店に技

術指導員として勤務します。その後、1966年8月に東京の青山店に移り、フランス人のパン職人がパンを焼いている姿が人気を呼んで、フランスパンブームが起こります。

当時の日本では、「フランスパン」と言えば「ガチガチに硬くて、塩味がきつく食べにくい」というイメージでしたが、ビゴ氏が焼く「薄い皮はパリッとしていて香ばしく、中はしっとりと柔らかい」フランスパンは、これまでのものとは大きく異なり、「硬くて食べにくい」フランスパンのイメージを払拭します。

後にNHKのインタビューの中でビゴ氏は、フランスパンがサクサクとして食べやすいことを見せ、「フランスパンが硬くて食べにくいものというイメージを払拭できた」と語っています。

指導者として尽力する

ビゴ氏は、日本のパン職人の育成にも尽力し、多くの弟子を輩出しています。主な弟子には、「パンテコ」代表取締役社長の松岡徹氏、「ビゴ東京」代表取締役の藤森二郎氏、コム・シノワ (Comme chinois) の西川功晃シェフなどがいます。

ビゴ氏は、人間の生活リズムに合わせてパン作りの工程を決めるのではなく、パン生地の仕上がりによって工程を決める方法を取り、安定剤などの添加物を加えることや発酵を早めるためにイースト菌を増やすなどを一切行わずに、本来のパン作りの方法を貫いていました。「規則正しい生活をしたいならば、パン職人には向かない」と述べています。

独立、「ビゴの店」を開店

その後、1972年に独立して、兵庫県芦屋市に「ビゴの店」を開店します。関西を中心に人気のパン屋として知られていきます。

生い立ち

ビゴ氏は、1942年9月17日、当時ナチスドイツの占領下にあったノルマンディー (Normandie) 地方で、祖父の代から続くパン職人の家に3代目として生まれました。8歳の頃から父の元で仕事を手伝い始め、14歳の時には見習い職人として働き始めます。

17歳でパリに移り、見習いとして働きながら、国立製粉学校 (INBP / Institut National de la

Boulangerie Pâtisserie) の製パン科に入学、同時期に職業訓練センター (Centre de Formation Professionnelle) に通い、パン職人と菓子職人の職業適性証 (CAP / Certificat d'aptitude professionnelle) を取得します。

その後は正式なパン職人としてパリ郊外のクールブヴォワ (Courbevoie) で働き始めます。

19歳の時に徴兵され、兵役を終えた後は再びクールブヴォワやパリでパン職人として働き、その後22歳で来日、日本にフランスパンを広めます。

レジオン・ドヌール受賞

ビゴ氏は、フランスパンを日本で普及させた功績が称えられ、1982年には国家功労賞 (L'ordre du mérite national) のシュバリエ (Chevalier)、1987年には農事功労賞 (L'ordre du mérite agricole) のシュバリエ、1988年には同じく農事功労賞の更に上の階級であるオフィシエ (Officier) が授与されています。

また、2003年には、母国フランスで最高勲章の「レジオン・ドヌール勲章 (L'ordre national de la légion d'honneur)」のシュバリエ (5段階中上から5番目) が授与されました。

日本でもその活躍が認められ、2017年には「現代の名工」に選ばれています。

フランス大使館も追悼の意

日本にフランスパンを普及させることに尽力した「フランスパンの神様」の訃報に、フランス大使館もツイッターで追悼の意を表しています。

【大使の言葉】追悼 フィリップ・ビゴ氏 日本におけるフランスパンの草分け
pic.twitter.com/qLoHH8NZpt

— フランス大使館 (@ambafrancejp_jp) [2018年9月18日](#)

私たちが日本で美味しいフランスパンを食べることができるのも、ビゴ氏の功績があつてのこと

なのですね。

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

